

基本方針④ 力強い産業と仕事づくり

政策1. 足腰の強い農林業の推進

【現状と課題】

農業従事者の高齢化や後継者不足による農家数の減少が、農業界全体を取り巻く大きな課題となっています。また、輸入農産物や他産地との価格競争、安全基準の強化など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

本市では、農業の効率化と経営安定化を図るために、生産基盤の整備をはじめ、生産組織や認定農業者などの担い手の育成、環境にやさしい農業の振興などに取り組んできました。

今後も引き続き農業を取り巻く環境変化を踏まえながら、生産基盤の整備や担い手育成、経営安定化に向けた取り組みを行うとともに、近年被害が深刻化している有害鳥獣への対策や、疫病対策への取り組みを推進する必要があります。

【今後の方針】

農林業生産基盤整備の推進や、認定農業者・集落営農組織など担い手の育成に努めます。また、農業生産の安定のため、イノシシの防護柵の設置促進や、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の防疫対策を推進します。

あわせて、農地や農村集落、森林の環境保全に努めます。

主要施策 1 農林業基盤整備の推進

■ 農業生産基盤の整備

(1) 農地の区画整理の推進

農業の生産基盤である耕地の区画整理、用排水路・農道等の整備を行います。併せて、農地の集約化による機械の効率的利用、労働時間の短縮を図るとともに、担い手農家、集落営農の育成に取り組めます。

〈山田原地区畑地帯総合整備事業〉



着工前



竣工

(2) 農業用水の安定確保と湿田対策の推進

農業用ため池やかんがい施設の整備に努め、農業用水の適正な管理により、洪水時等の用水管理や地域の治水を行うとともに、農作物の生産性の向上と安定化に取り組めます。また、乾田化などによる裏作物の導入と転作作物の定着化を実現し、農業経営の向上を目指します。

(3) 農道の整備推進と安全対策

農道を整備し、集落農業の活性化と農作業の省力化により農業経営の安定化を推進します。また、広域農道における橋梁の耐震化の早期完成を目指します。



農道浜口線(小浜地域)



農道木指線(小浜地域)

■中山間地域の農地保全

水資源のかん養、良好な景観形成など、多面的機能を有する農地を保全するため、各種制度等を活用し、農地の荒廃対策を推進します。

■林業生産基盤の整備

林業経営の安定を図るため、病虫害等の防除、被害木の処理、下刈り、間伐、枝打ちなど森林の整備と保全を行います。また、特用林産物の生産を推進します。



松くい虫防除



間伐

■森林資源の保護・育成

森林資源の保護・育成により、土砂災害の抑制や水資源のかん養等、森林が持つ多面的機能を高めます。

■農業用施設の長寿命化対策

農地・水保全管理支払交付金等を活用して、水路、農道路肩、ため池の補修や農道舗装の更新等、施設の長寿命化のための活動を支援します。

■食肉センター再構築に向けた取り組み

老朽化した食肉センターについては、島原半島の畜産振興や地域経済に悪影響を及ぼさないよう、施設の存続に向けて運営主体と運営のあり方を見直し、広域的施設として再構築に向けた取り組みを進めます。

主要施策 2 農業担い手の育成対策

農業・農村を支える担い手の育成・確保及び新規就農者の支援体制の確立のため、次の活動に取り組みます。

- (1) 認定農業者の経営改善・能力向上支援活動
- (2) 集落営農組織確保・育成支援活動
- (3) 新規就農者支援活動
- (4) 農業法人の設立支援活動
- (5) 女性・高齢農業者支援活動
- (6) 担い手への農地利用集積促進活動



認定農業者協議会研修

主要施策 3 経営基盤の強化

■国制度を活用した経営安定化の推進

中山間地域直接支払制度や農業者戸別所得補償制度等の活用により、経営安定化を推進します。

■集落営農、農作業受委託などの推進

農地の流動化を促進し、農地集約化を図るとともに、農業機械の共同利用化を進め、農作業受委託組織の設立を行うなど集落営農を推進します。

■有害鳥獣対策の強化

経営基盤の安定化のため、イノシシ等の防護柵の設置促進や、広域的な連携等による有害鳥獣被害防止対策に取り組みます。



イノシシ防護柵設置講習会



イノシシ防護柵

■優良畜産物の生産と防疫体制の強化

各種事業を活用し、優良乳用雌牛・肉用牛繁殖雌牛の計画的な導入を支援し、併せて生産履歴を活用し、高品質生乳・良好な牛肉の安定的な生産及び品質向上に取り組みます。また畜産経営の安定化のため、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の防疫体制の強化を行います。



和牛共進会



口蹄疫防疫

主要施策 4 環境にやさしい農業の振興

■環境保全型農業の推進

※エコファーマーや減農薬栽培など環境保全型農業を推進し、消費者に信頼される農畜産物の生産を支援するとともに、生産者の増加と作目の拡大を推進します。



バレイショ



イチゴ



レタス



ブロッコリー



ニンジン

■耕種・畜産の連携による循環型農業の推進

規模拡大に伴う家畜排せつ物を適切に処理するための堆肥処理施設等の整備や、周辺環境に配慮した営農改善を支援するとともに、家畜排せつ物の優良堆肥化と処理を行なうため、畜産農家と耕種農家で連携した取り組みを行う営農集団の組織化を促進します。

■農業系廃棄物の適正処理

施設園芸、馬鈴薯マルチ等の農業生産資材廃棄物の適正処理に向けた支援を行なうとともに、農業残渣などの廃棄物を含めた不法投棄防止の啓発に努めます。

主要施策 5 貿易自由化対策

時代の潮流としての貿易自由化は、特に畜産や米作経営への影響が想定されることから、特段の事前対策を講ずるよう国へ強く働きかけを行う一方、農業者の所得確保につながる海外輸出に向けた取り組みを支援するなど、その対策に取り組んでまいります。

主要施策 6 諫早湾干拓における営農支援

諫早湾干拓地において、県や近隣市とともに環境にやさしい農業を推進するための情報提供や営農相談、諸支援策の実施に取り組めます。

政策2. 豊かな水産業の振興

【現状と課題】

本市の漁業は、地形や海況特性が異なる橘湾と有明海で展開されており、貝類（カキ、アサリ等）や魚類（タイ、ハマチ、フグ等）の養殖など着実に成果を伸ばしている分野もあります。

しかし、近年の水産資源の減少や魚価の低迷、漁業就業者の高齢化と後継者不足など、漁業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

今後は、栽培漁業・養殖漁業による水産資源の維持増大や資源管理型の漁業の展開のほか、経営基盤の安定対策、新規就業者対策など、漁業担い手の確保に努める必要があります。

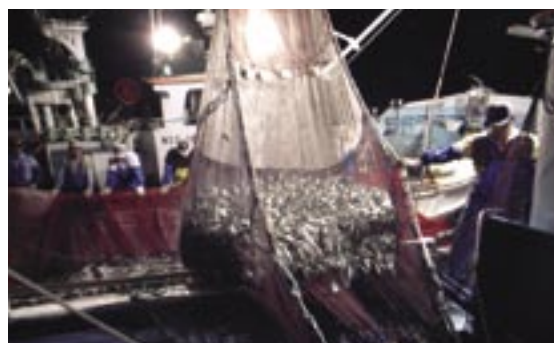
【今後の方針】

水産資源の維持増大のため、栽培漁業や資源管理型漁業の定着を図るとともに、養殖漁業を推進します。また、漁業担い手の確保のための取り組みを推進します。

主要施策 1 水産業生産基盤整備の推進

■生産基盤の整備

水産物の安定的な水揚げと漁業者が安全に漁業活動ができる基盤づくりとして、漁場の整備と漁港施設の適正管理を行います。



水揚げ

■漁港の秩序ある管理

プレジャーボート所有者と漁業者とのトラブル防止及び遊漁船の放置等に対処するため、係留区域の制限と施設の充実を図り、漁港の秩序ある管理に取り組みます。



富津漁港

主要施策 2 ^{*}栽培漁業、養殖漁業の推進

■栽培漁業、養殖漁業の推進

水産資源の維持増大のため、栽培漁業や資源管理型漁業^{*}の定着を図るとともに、養殖漁業を推進します。



カキ養殖



ノリ養殖

■漁場環境の保全創造

漁業資源の安定確保を目指して、魚礁^{*}の設置、漁場、増養殖場の整備を促進するとともに、藻場等の機能維持、回復を推進し、漁場環境の積極的な保全を図ります。

主要施策 3 水産業担い手育成対策

■漁業担い手の確保

高齢化する漁業従事者、後継者不足に対応するため、経営基盤の安定対策、装備の近代化支援に取り組みます。

■新規就業者に対する支援

漁業への新規就業を促進するため、地域の受入れ体制及び支援体制の整備に努めます。

政策3. 魅力ある商工業の振興

【現状と課題】

本市では買回り品を中心に市外への買い物客の流出が進んでいます。こうした背景から地域住民の身近で日常的な購買活動の拠点である商店街の機能の低下が問題となっています。

今後更に進むことが予想される高齢化社会においても誰もが安心して買物ができるよう、身近な商店街を中心とした地域の商業機能の維持・活性化のための取り組みが必要です。

【今後の方針】

商店街が自発的に取り組む活性化に向けた活動支援や、地域資源を活かした新商品・新サービスの開発等を推進します。また、金融支援策等により経営基盤の安定化を図ります。

主要施策1 魅力ある商店街の形成

■商店街の活性化支援

市内の各商店街がアイデアを出し合い、それぞれの魅力を高めるため、各種イベントや情報発信の強化など、商店街が行う活性化事業への支援を行います。

■新商品・新サービスの開発等への支援

地域資源を活かした新商品の開発や買物弱者の対策など、新サービスの開発等を支援します。



小浜中央商店街

主要施策2 経営基盤の安定化

設備投資等に対する金融支援策などにより、経営基盤の安定化を推進します。

政策4. 雲仙ブランドの確立

【現状と課題】

“食”の安心・安全に対するニーズは高まり続けており、雲仙ブランドの振興を進める本市においては大きな機会が到来しているともいえます。

こうした中、本市では、雲仙ブランドの認定制度を確立し、製品の品質や安全性を確保する取り組みを進めるとともに、平成22年10月には福岡市にアンテナショップを開設するなど、販路拡大に向けた取り組みを行ってきました。

今後は、雲仙ブランドの知名度向上と製品の販売促進を実現するため、高付加価値製品の創出支援に取り組むほか、販路拡大を推進する必要があります。

【今後の方針】

雲仙ブランドの確立と更なる浸透を図るため、安定した生産基盤の確立や、高付加価値型農業への取り組みを推進します。また、アンテナショップ等を活用し、大都市圏の消費者へのPRや販路拡大への取り組みを推進します。

主要施策1 ブランド化の推進

雲仙市の優れた農畜水産物の調査・発掘を行い、雲仙ブランドとして認定し、県内はもとより大都市圏などに向け、その品質や特性等をアピールします。また、雲仙市の素材を使った農畜水産加工品・製造加工された商工製品などを「うんぜん逸品」として認定し、商品のPRと雲仙市のイメージアップを図ります。



雲仙ブランド・うんぜん逸品

主要施策 2 ブランド確立に向けた展開

■流通対策の確立支援

安定した生産体制の確立を図り、国内外市場の動きに対応できる集出荷体制の強化と販路拡大への支援を行います。

■高付加価値型農水産業への取り組み支援

雲仙市の優れた農畜水産物を活用した加工品の開発などの高付加価値化、また、観光産業との連携などにも積極的に取り組み、加工、流通、情報、交流等の幅広い分野における農畜水産ビジネスの創出につなげます。

■地産地消と交流イベントによる雲仙ブランドの浸透

市内旅館・ホテル、学校給食会、福祉施設等と連携し地産地消の取り組みを推進します。また、産業まつり等の開催により、市内外に対する雲仙ブランドの浸透を目指します。

主要施策 3 アンテナショップ等の有効活用

福岡市中心部に設置したアンテナショップ「キトラス」等を活用した雲仙ブランドのPRなど、他県の消費者に対する認知度の向上と販路拡大に取り組めます。



アンテナショップ「キトラス」

政策5. 地場産業振興と企業誘致による雇用の創出

【現状と課題】

全国的な景気の低迷が続く中、本市の地場産業や雇用情勢を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

人口減少が進む本市にとって、雇用の場を確保することは緊急の課題といえます。今後は、地場産業の振興を図るとともに、関係機関と連携しつつ企業誘致のためのハード・ソフト両面の取り組みを推進していく必要があります。

【今後の方針】

資金貸付制度等を活用し、地場産業の育成や規模拡大に努めるとともに、長崎県産業振興財団等の関係機関との連携や、本市独自の優遇制度を活用した企業誘致を推進します。また、地元での就職を促進するため、就職情報の提供や就職相談を強化します。

主要施策1 地場産業の育成による雇用創出

融資制度等の活用により、地場産業の育成や経営規模拡大等を図るとともに、豊富な農林水産資源を活かした農商工連携の推進により、地場産業の活性化を促進し、雇用創出に努めます。

主要施策2 企業誘致の強化

企業立地のための基本計画に基づき、長崎県産業振興財団等の関係機関と連携しながら、本市の強みである農林水産資源等を活かした企業誘致活動を強化します。



企業誘致 三貴工業(株)



企業誘致 (株)雲仙湯けむりファーム

主要施策 3 雇用環境の整備

地元での就職を促進するため、人材育成に関する資格講座等の情報提供や就職相談を充実させ、雇用環境の整備を図ります。



基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり

政策1. 地域資源を活かした観光の振興

【現状と課題】

多様な分野への波及効果が大きい観光産業は、本市の重要な産業の一つです。本市では、自然環境などの地域資源を活かした体験型観光を進めており、近年では日帰り観光客数は増加傾向にあります。

しかし、近年の旅行形態の変化やニーズの多様化、地域間競争の激化、外国人観光客の取り込みなど、観光を取り巻く環境は大きく変化しています。今後は、こうした環境変化を的確に踏まえ、本市の“強み”を最大限に活かした観光振興に取り組む必要があります。

【今後の方針】

ジオパークや各ツーリズムなど本市の豊富な地域資源を活かした体験プログラムを充実させるとともに、ガイドやインストラクターの育成によるおもてなし力の向上を図るなど、何度でも訪れたい魅力的な観光地づくりを推進します。

また、アンテナショップやインターネットなどの多様な手段による効果的な情報発信を行うとともに、修学旅行客や東アジアを中心とした外国人観光客の誘客に取り組みます。

主要施策 1 体験プログラム(着地型観光メニュー)の充実

■地域資源を活かした体験プログラムの充実

ジオパーク等の自然環境を活用した体験プログラムや、温泉を活用したヘルスツーリズム、農水産業と連携した“食”の体験など、本市の特徴を活かし、本市を訪れる人にとって魅力ある体験プログラムを充実させ、交流人口の増加に努めます。



海のイカダで魚釣り体験



茶摘み体験

■体験プログラムの舞台づくり

体験プログラムの舞台となる歴史や街なみ、恵まれた自然眺望など景観資産を活かした観光ルートの開発や充実に努めます。



緑のトンネル(旧小浜鉄道)



神代小路地区

主要施策 2 受入体制の強化

■観光関係団体と他産業団体との連携強化

観光関係団体と農林水産業等の他産業団体との連携強化を推進します。

■観光ガイド等の観光人材の育成と活用

観光ガイドやインストラクターの育成と技術の向上を図り、体験プログラムでの活用を推進します。



雲仙市観光ガイド協会

■外国人観光客の受入体制の整備

国際観光都市にふさわしい観光地づくりを目指し、観光施設の外国語表記案内等を充実させます。

■広域観光地づくりの推進

島原半島観光連盟を中心として、半島が一体となった観光振興を図ります。また、^{*}雲仙天草観光圏整備計画に基づき、自治体の枠を超えた観光資源の開発や^{*}体験型観光の推進など、受入体制の整備を図ります。

■市民による「おもてなし」の推進

市民によるおもてなし（ホスピタリティマインド）の運動を推進いたします。

主要施策 3 プロモーション（誘客・宣伝）活動の強化

■旅行商品の提案

旅行会社等とタイアップした魅力的な旅行商品の提案に努めます。

■修学旅行・研修旅行等の誘致

多様な体験プログラム等を活用し、修学旅行・研修旅行等の誘致を推進します。

■^{*}コンベンションの誘致

関係機関と連携し、スポーツなど各種分野のコンベンション誘致を推進します。

■戦略的な情報発信

インターネット、マスコミ等の多様な媒体や^{*}アンテナショップ等を活かし、効果的な情報発信を行います。



馬鈴薯掘り体験

■外国人観光客の誘客促進

長崎県及び長崎県観光連盟や他自治体等の関係機関と連携し、上海航路なども活用しながら、主に東アジア等からの外国人観光客の誘客に取り組みます。



政策2. 地域間交流の推進

【現状と課題】

本市は、観光姉妹都市である鹿児島県霧島市や、天正遣欧少年使節ゆかりの地としての宮崎県西都市・長崎県大村市等との青少年の交流事業を行っています。また、海外においては、大韓民国求礼郡との国際交流を行っています。

スポーツ交流も盛んで、平成20年からは、Jリーグモンテディオ山形のキャンプ地としての交流などが行われています。

今後も多様な交流による経済・文化の活性化を図るため、国内外の交流ネットワークづくりや交流機会の創出に取り組むことが必要です。

【今後の方針】

プロスポーツチーム等の合宿やスポーツ大会関連事業の誘致に取り組むとともに、スポーツ大会や産業まつり等の交流イベントによる交流促進に取り組みます。

また、姉妹都市交流など国内・国際交流を推進し、文化、経済、情報交流など様々な分野における交流活動の活性化に取り組みます。

主要施策1 スポーツ・イベントを通じた交流促進

■スポーツ交流の促進

企業、高校・大学、プロのスポーツチームの合宿など、スポーツ大会関連事業を誘致し、誘致チームと地元子どもたち等との交流機会を創出します。また、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた交流活動に努めます。



湯・YOUマラソン

■交流イベントの支援

交流人口の拡大と魅力発信のため、産業祭等の交流イベントの充実を図るとともに、新たな交流イベントの開催を支援します。



プロサッカーチームと地元子どもたちとの交流(平成24年2月開催)

主要施策 2 国内・国際交流の推進

国内における姉妹都市交流や、歴史的なつながりによる交流など地域間交流を発展させるとともに、国外の姉妹都市である大韓民国求礼郡をはじめとする東アジアの他都市との、青少年による交流や経済、スポーツ、文化など幅広い分野での交流機会の拡大を促進します。



求礼郡・雲仙市青少年文化体験交流



国際理解講座